

# 高等教育分野における JICA プロ技の実施スキームに関する研究

森田 智

## 研究の背景および目的

近年、開発援助における教育の重要性に対する認識が高まっている。1990年、世界銀行、UNDP、UNESCO、UNICEFの4機関が共同主催した「万人のための教育世界会議」が開催され、「教育は個人の向上と社会の改善のために不可欠な鍵であることから、基礎教育を全ての人に与えることが必要である」ことを訴えた「万人のための教育世界宣言（EFA）」が採択された。EFAは、現在の教育援助に対する国際的な思潮を形成する上で大きな役割を果たしている。日本では1992年、JICA職員および関係者により構成される「開発と教育」に関する分野別援助研究会が発足し、実施方法や実施体制等に関する数々の提言が行われた。その中で、基礎教育の量の拡充と高等教育の質の向上に重点を置く方針や、教育援助に関する調査研究が不十分であるという見解が述べられた。実際、それらの提言を援助の実施スキームに取り入れていくためには、教育援助に関してさらなる調査研究が必要不可欠である。

本研究の目的は、高等農業教育分野における文献および現地調査とプロジェクト・サイクル・マネジメント（PCM）の分析手法に基づき、援助の実施スキーム、特に技術協力の主要形態であるプロ技の実施スキームの改善案を提唱することにある。

## プロ技の事例研究

本研究では、上記目的のもと、高等教育分野のプロ技案件に関する事例研究を行った。その調査対象として、インドネシア国ボゴール農科大学における一連のJICAプロジェクトを選定した。その理由として、インドネシアが日本にとって歴史的、地理的、また政治・経済面において重要な存在であり、日本の援助最重点国の一つとされていること、インドネシアではこれまで、有償・無償・技術協力を含む数々の高等教育分野案件が実施されてきたこと、当該プロジェクトは、東京大学農学部教官の支援を受けて継続的に実施されてきたこと、の3点が挙げられる。なお、1988年には、東京大学農学部とボゴール農科大学との間で大学間学術交流協定が締結されている。

## プロジェクト実施の経緯

JICAは、インドネシア政府が策定した数次におよぶ国家開発計画における農業分野の発展を支援するために、20年以上に渡り、同国における高等農業教育の最重要拠

点とされているボゴール農科大学において、農業工学分野の教育・研究に関する施設の拡充整備と研究能力および教育の充実を図るための一連のプロジェクト（表 1）を実施してきた。AP - 4 では、農産加工分野における技術水準向上を図るためのパイロットプラントの設置、無償資金協力では大学院の建物と設備の拡充整備、ADAET では、供与された施設の有効活用による共同研究および学术交流が実施された。

### **文献および現地調査**

最初に、当該プロジェクトに関する事前調査から最終評価までの報告書、ならびに民間コンサルタントによる評価報告書などのプロジェクト関連文献調査を行った。次に、プロジェクトサイトの現状を適切に把握し、当該プロジェクトの中でも特に ADAET に関して、プロジェクト実施のスキームに関する問題点を把握することを目的として、インドネシア側プロジェクト関係者へのアンケートおよびインタビュー調査を行った。

### **スキームの分析**

上述した調査結果をふまえ、プロジェクト運営管理および評価の手法として知られている PCM 手法を用いて、プロ技の実施スキームに関する分析を試みた。具体的には、PCM 手法の中の問題分析、目的分析、および代替案選択といった一連の作業手順を段階的に踏んだ。

まずは問題分析により、プロ技の 3 本柱である専門家派遣、機材供与、研修員受入にローカルコスト負担を加えた 4 つの軸を中心に、それぞれの効率性に関する問題点、それらが実施期間に影響を及ぼす範囲やその過程および原因、そしてそれらの因果関係等を明らかにした。次に、目的分析により、それらの問題点を解決するための確かな目標設定を行った。

### **スキームに関する提言**

PCM の分析結果から得られた改善目標の実行可能性を考慮した上で、高等教育分野におけるプロ技の実施期間に関する新実施モデルを提唱し、さらにスキームの組み立てに関する留意点として、派遣前研修の充実、機材選定方法の見直し、供与機材の維持管理方法の確立、有償資金協力との連携強化、ローカルコスト負担の拡大など、5 点の提言を行った。

表1 ボゴール農科大学における JICA プロジェクト

/	プロジェクト名	実施期間	協力形態
	ボゴール農科大学 農産加工計画 (AP - 4)	1977.10.14 - 1984.10.13	プロ技
	ボゴール農大大学院 設備拡充計画	1984.09.21 - 1986.03	無償
	ボゴール農大大学院 計画 (ADAET)	1988.04.01 - 1993.03.31	プロ技
	ADAET アフターケア	1998.04.01 - 2000.03.31	プロ技